



人街元気!!
県民と県をつなぐ架け橋

2018.5
第49号

友雅会NEWS

組織内
討議資料

ふるや **古屋まさお**と
ともに歩む **友雅会**

〒405-0007 山梨市七日市場816-7(自宅)
TEL・FAX 0553-23-6688(後援会)
E-mail m.furuya@basil.ocn.ne.jp
発行責任者 詫間 仁
編集責任者 古屋 雅夫

古屋まさお県議の県政報告会、後援会「友雅会」総会を開催

さる、4月21日(土) 山梨市民会館において「古屋まさお」県議後援会(友雅会)主催による、県政報告会と「友雅会」総会が開催された。総会には宮沢由佳参議院議員、高木山梨市長、連合山梨 田中副会長(自治労山梨中央執行委員長)、小野市議会議長、村田市議会副議長など多くの来賓および支援者ら100名を超える方々が参加して頂き盛大に開催された。

第1部では、古屋県議が当選後6ヶ月を振り返り県議会、県政について報告された。

その1、議会改革の着実な推進が山梨県議会には必要、「リベラルの発想に立ち、古い仕組みを変えていくこと」「政策立案は県民・現場目線に立った政策提言」が必要。**「是々非々」で日々議員活動に奮闘しています!**

現在の県議会構成は36名、圧倒的多数の会派「自民党・誠心会」(22名)が、議会人事、政策立案等の主導権を持ち、議会運営が行われており、時には少数会派の歯痒さを感じつつ「主張」すべきことは「主張」し、県民目線で議会活動に取り組んでいます。

その2、後藤県政を取り巻く状況は、平成31年1月改選期を迎え、オール与党(共産党を除く)で支えられてきた後藤県政、ここにきて自民党はこの3年間の県政運営の「検証」をはじめた。早ければ5月中に取りまとめとのこと。一方、自民党県連内では知事選への動きを活発化させています。

その3、主な個別政策の考え方、平成30年度予算措置では後藤県政がキーワードとしている、「子育て日本一」「健康寿命日本一」「移住希望ランキング日本一」を目標に、「ダイナミックやまなし総合計画」の着実な



推進を目指し、多くの新規事業を取り入れた予算が決まった。

特に人口対策では69新事業を追加し、若者の県内の定着を目指した人口減少対策にも力を入れている。また農業分野における**「基幹産業の発展」**、「儲かる農業」の確立を図るため、①新規就農者の確保・育成に向けた支援を引き続き行う。②2020年の東京五輪・パラリンピックの開催における食材調達基準に対応するための**GAPの推進**。③消費ニーズや収益性の果樹品目への転換地に対する助成制度の確立。また**教育関係では、教員の多忙化の解消・働き方改革**を行い、教員の負担軽減による教育の質の向上など指導・運営体制の構築を平成38年まで図る。**公共事業については**518億円、県単公共事業113億円を計上、当初予算比2億円増の631億円等、主な事業の概要を報告し、引き続き県政発展のため、全力で取り組む決意を述べた。

第2部・友雅会 総会

新・後援会長に「詫間 仁」氏が就任、 「地域支部」の確立と組織強化を目指す

県政報告会に続き、「古屋まさお」県議の後援会「友雅会」総会が開催された。総会では、①会則の一部変更(目的、役員名の一部変更、地域組織の確立を新規・追加)が提案され承認された。

②役員体制は会長、会長代理、副会長兼支部長(相談役兼支部長も含む)、事務局長、常任幹事、青年部長、青年部幹事、女性部長、女性部幹事、会計幹事役員を確認し、組織運営を行う役員体制を再構築した。今後は幹事を含め、さらに組織の充実・強化を図るため役員の補強を幅広く行い、あわせて会員の拡大を目指していくことを出席者全員で確認した。

役員の一部紹介

- 最高顧問 輿石 東様(前参議院副議長)
- 後援会長 詫間 仁様(三ヶ所)※
- 会長代行 手塚 仁様(七日市場)※
- 支部長 (略)
- 事務局長 手島宏之様(七日市場)

※相談役、副会長、支部長、常任幹事等役員紹介は紙面の関係で省略させていただきます。



今後の県政における議員提案・政策課題

● 山梨県産木材利用促進にむけた条例 ● ミネラルウォーターに税導入

4月19日開催の政策立案特別検討会において、本年度、目指す政策条例として「山梨県産木材利用促進条例」の制定に向けた委員会を設置し、論議していくことが各会派代表者会議等で確認された。また政策提言として「ミネラルウォーターに税導入」に向けた委員会を設置して検討していくことが各会派代表者会議等で確認されている。

なお「ミネラルウォーターに税導入」について、山梨県は全国の28.7%（平成27年）シェアを占めており、過去にはミネラルウォーターを課税される業界側から猛威反発。2007年に当時の横内・元知事は断念した経緯がある。税の平等性を含め慎重な論議が必要と考える。

「古屋まさお」県議ホームページ リニューアル

山梨県議会議員 古屋まさお 公式ウェブサイト
e-masao.net

古屋まさおとともに歩む 友雅会 ウェブサイト
yugakai.com



(3/19) 2月定例会・「予算特別委員会」では積極的に質問を行う



(3/21) 雪の中「西関東連絡道路開通式」(岩手ランプまで) 2列目一番左・古屋県議



(4/7) 信玄公まつり・山梨市消防団隊「出陣式」八幡神社にて



(4/7) 信玄公まつり・県議会を代表して武将姿で「おもてなし」(H30冬季五輪アスリート、右側 菊池選手、左側 押切選手)



(4/28) 第89回連合山梨メーデーに参加



(4/29) 西沢深谷山開き、山岳指導所開所式に出席し挨拶・安全祈願

随想録

エッセイ



▶ 異常事態の安部政権、「森友公文書改ざん」「加計疑惑」「自衛隊イラク日報の隠ぺい」「前財務次官のセクハラ暴言」不祥事が底なしどれもが民主主義を揺るがす深刻な問題。特にセクハラ問題では社会をリードすべき政治家や官庁幹部にあって、問題の軽視やセカンドセクハラ（二次被害）のような暴言の数々。「魚は頭から腐る」と言う新聞記事があったが同感。▶ 1998年、忘れもしないセクハラ防止を義務付ける改正男女雇用機会均等法が施行されたが、まだまだ人権やセクハラ意識の低さ、大昔の村社会のようだ！ ▶ 目指すは真に国民・県民の利益、幸福に繋がる信頼ある政治に向けた勢力の結集を目指したい。▶ 県政においては引き続き、「県民」・「地域」が主役となる地域づくりに取り組んでいきます。